

# がん検診受診率向上に向けた 取り組みについて

---

健康福祉局 健康づくり推進課

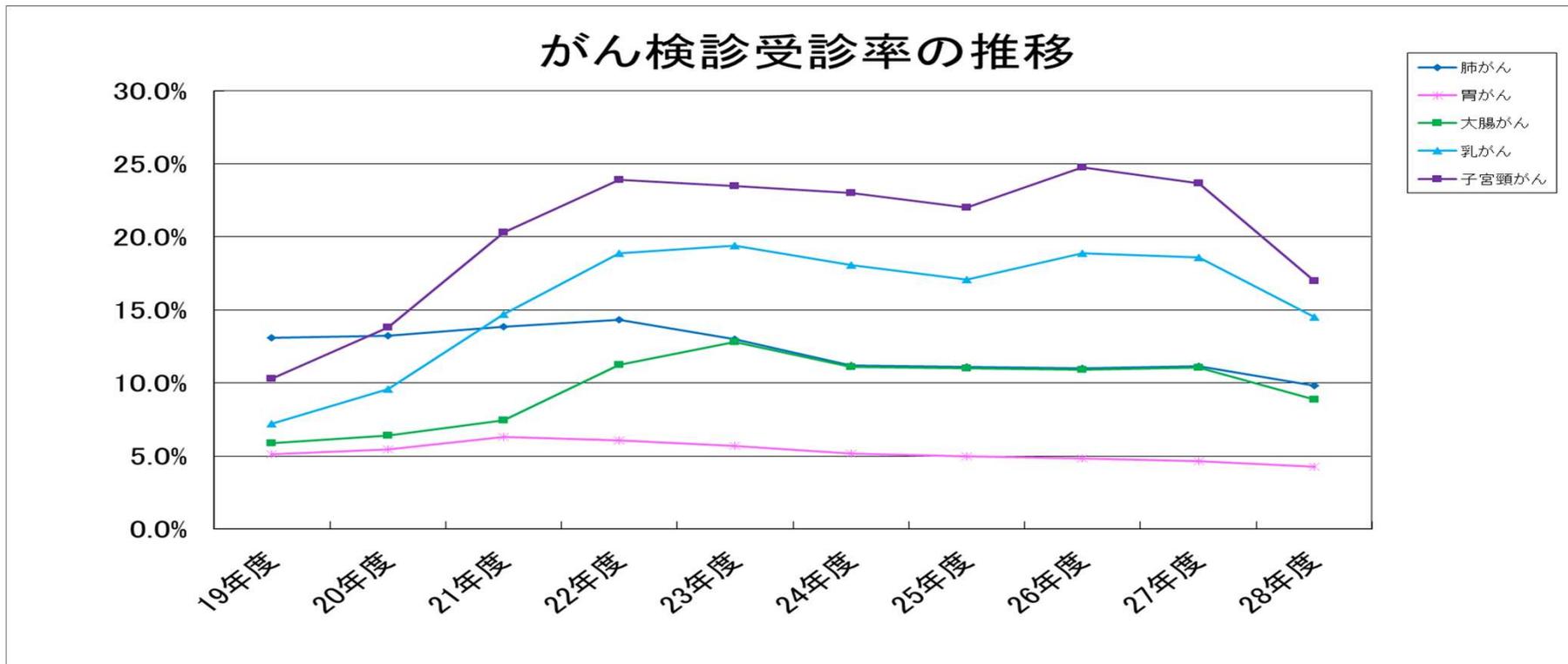
# 【がん検診受診率の課題】

## 【受診率の推移】

がん検診の受診率は、下記に記載した市町合併、無料クーポン事業等の制度変更、震災等により平成28年度は大幅に低下した。受診率は制度改正等の影響を受けやすい傾向にある。

## 【主な制度改正等】

- ・H20年度 富合町合併
- ・H21年度 城南町・植木町合併  
子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン事業開始
- ・H22年度 大腸がん検診個別検診開始
- ・H23年度 大腸がん検診無料クーポン事業開始
- ・H24年度 子宮頸がん・大腸がん（個別検診）自己負担額アップ
- ・H28年度 熊本地震発災  
子宮頸がん、乳がんのクーポン対象者変更  
大腸がんクーポン終了



# 【現在の取組】

## 【受診率目標と取組】

がん検診受診率目標は、7次総合計画の前期計画の検証値とし、その目標数値に到達できるよう各年度の受診率目安、受診者数目安を設定した。

受診率向上に向けた取組については、下記の市民への周知啓発から効果的な検診方法導入まで5本の柱で実施している。

検証指標	H28年度 (基準値)		H29年度 (実績値)		H30年度 (実績値)		H31年度 (第7次検証値)	
	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数
肺がん検診	9.8%	20,000	10.0%	21,333	10.0%	21,142	13.1%	27,743
胃がん検診	4.2%	8,658	4.2%	8,952	4.2%	8,926	6.7%	14,189
大腸がん検診	8.9%	18,108	9.3%	19,763	10.3%	21,817	13.0%	27,531
乳がん検診	14.5%	9,287	14.0%	10,199	16.8%	13,282	19.2%	12,769
子宮頸がん検診	17.0%	13,095	18.5%	17,949	22.9%	20,534	24.5%	20,362

※第7次検証値受診者は、推計対象者、受診率を基に積算。乳がん検診、子宮がん検診の受診率検証値は推計対象者、受診率を乗じ2で除し計算。

目標：第7次総合計画目標値  
期間：H29年度～H31年度

## がん検診受診率向上

がん及びがん検診に関する周知・啓発

がん検診受診環境の整備

企業・団体等との協働による取組み

効果的な受診勧奨

効果的な検診方法等の導入・検討

### 取組概要

- ・がん及びがん検診の正しい知識の普及
- ・あらゆる機会を捉えた広報の実施
- ・各種団体等に対する啓発協力 など

### 取組概要

- ・特定検診とがん検診の同時実施
- ・休日がん検診の実施
- ・応急仮設住宅等への巡回検診 など

### 取組概要

- ・包括連携企業との連携強化
- ・がん対策企業等連携協定企業と協働の取組み など

### 取組概要

- ・検診初年度対象者に対する受診勧奨
- ・退職により受診機会を失った方に対する受診勧奨
- ・ハイリスク者に対する受診勧奨の実施 など

### 取組概要

- ・大腸がん検診検体郵送の取組み
- ・胃内視鏡検査の導入検討
- ・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業（無料クーポン事業） など

# 【受診率向上の主な取組】

- 1 **がん及びがん検診に関する周知・啓発**
  - ・熊本市いきいき健康大使の協力による啓発（H29年度～）
- 2 **がん検診受診環境の整備**
  - ・応急仮設住宅における巡回検診の実施（H28年度～）
  - ・冬期における大腸がん郵送検診（H29年度～）…①
- 3 **企業・団体等との協働による取組**
  - ・がん対策連携協定企業会議を開催（H29年度～）
  - ・協定企業との連携事業実施（H30年度）…②
- 4 **効果的な受診勧奨**
  - ・受診勧奨の拡充（がん検診ハイリスク者など）（H29年度～）…③
- 5 **効果的な検診方法等の導入・検討**
  - ・胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）…④
  - ・効果的な無料クーポン事業の実施（H29年度～）
  - ・70歳以上がん検診無料化…⑤
  - ・がん検診無料化検討

## 【取組の検証】

### ①冬期における大腸がん郵送検診（H29年度～）

#### 【大腸がん検診の課題及び取組の背景】

- 働き盛り世代（40～50歳）大腸がん検診受診者は全体の約2割
- がん検診を受診しない理由として「時間が取れない」、「めんどう」が上位

#### 【初年度実績】

- 受診者数：876人（想定人数1,000人）
- アンケートの答え「簡単にできて便利」との意見が多かった（約15%）一方、周知不足や更に利便性を高めてほしいという意見も…。



#### 【課題への対応】H30年度

- 周知方法にLINE、回覧板による全戸回覧を追加
- 受付方法においても電話に加え、メール、FAXでも可能とした。

## 【H30年度結果】

H29年度の受診者数：876人

⇒ H30年度受診者：2,192人

**2.5倍増**

## 【アンケート結果】

回答数1,578件（回答率72.0%）

- ・男性：31.0%、女性：69.0%
- ・59歳以下：43.7%、60歳以上：56.3%
- ・郵送検診の新規利用者：86.6%
- ・大腸がん検診新規受診者：30.7%
- ・郵送検診を知った経緯：右表のとおり

### 郵送検診を知った経緯

1	回覧板	1360	60.8%
2	市政だより	518	23.2%
3	その他	177	7.9%
4	町内掲示板（ポスター）	62	2.8%
5	LINE	48	2.1%
6	市ホームページ	47	2.1%

## 【次年度への対応】

右の周知方法を中心に更なる周知啓発を行い、受診者数アップを図る。

## ②協定企業との連携事業実施 (H30年度～)

**乳がん 婦科がん**

# 女性のための市民公開講座

早期発見と適切な治療が重要な女性特有のがん

女性のがんの中で発症率が最も高く「乳がん」と「婦人科がん」。どちらも年々増加傾向にあり、もはや他人ごとでは済まされません。今回のリビング医療セミナーでは、女性にとって関心の高い「乳がん」「婦人科がん」について、熊本で活躍される専門医が分かり易く解説してまいります。是非ご参加を!

**参加無料 / 参加者募集**

日時 2019年4月20日(土)  
13:30～16:00(受付開始13:00～)

会場 シアーズホーム 夢ホール 大会議室 (熊本市民会館 中央区板町1-3 ※公共交通機関をご利用ください)

定員 300名 (※申し込み先着順 ※定員に限りご参加の枠らせていただきます)

### ○女性のための市民公開講座の実施

参加募集人数：300人

日時：平成31年4月20日(土)

会場：シアーズホーム夢ホール大会議室

連携企業：中外製薬

講演会概要

講演①くまもと森都総合病院診療部長  
有馬信之 先生

講演②相良病院

認定看護師 深江亜衣 先生

講演③くまもと森都総合病院乳腺センター  
センター長 太佐古智文 先生

講演④熊本大学院産婦人科学  
教授 片渕秀隆 先生

日本生命 熊本支社主催

NISSAY

### ニッセイ乳がんセミナー

入場無料

先着 100名様

～もっと知っておきたい乳がんのこと～

押さ 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
又、平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて弊社では、日頃のご愛顧に感謝し、分かりやすく、実際に際してお役に立つ、「乳がんセミナー」を企画いたしました。つきましては、下記の通りご案内させていただきますので、是非ともご来場くださいますようお願い申し上げます。末筆ではございますが皆様の益々のご発展を心より祈念申し上げます。 敬具

日本生命保険相互会社  
熊本支社 支社長 高橋 智尚  
職員一同

●日時 2019年10月4日(金)  
18:30～20:00(受付/18:00～)

●会場 日本生命保険相互会社熊本支社 13F会議室  
熊本市中央区中央街2-11 熊本サンニッセイビル13F

●内容 もっとみんなに知ってほしい「乳がん」のこと  
～早期発見の大切さ～

●講師 女医による乳腫専門クリニック「みわクリニック」  
院長 秋月美和 先生

### ○ニッセイ乳がんセミナーの実施

参加募集人数：100人

日時：令和元年10月14日(金)

会場：日本生命保険相互会社熊本支社13F会議室

連携企業：日本生命保険相互会社

セミナー概要

演題 もっとみんなに知ってほしい「乳がん」のこと  
～早期発見の大切さ～

講師 みわクリニック

院長 秋月美和先生

### ③受診勧奨の拡充（がん検診ハイリスク者など）（H29年度～）

【乳がん、子宮頸がん検診の課題】

○無料クーポン制度改正により受診者数が大幅減

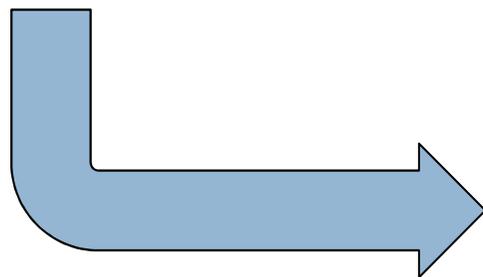


【取組】

○罹患率の高い世代（子宮頸がん：20～30代、乳がん：40～50代）

の女性に対し受診勧奨圧着はがきで検診内容等を分かりやすく伝える

個別受診勧奨を実施



○受診勧奨の拡充状況

受診勧奨区分	平成28年度以前	平成29年度 (実績見込)	平成30年度 (実績見込)
【一定年齢到達者向け】 ※退職世代、節目年齢、無料 クーポン対象者	52500人	81900人	80400人
【ハイリスク者向け】 ※地震により受診機会を逸した方（H28）、乳がん、子宮 頸がんハイリスク者	0人	63,000人	144,000人
受診勧奨合計	52,500人	144,900人	224,400人

※受診勧奨数は概算

# 子宮頸・乳がんハイリスク対象者受診勧奨（下は子宮頸がんはがきイメージ）

子宮頸・乳がんハイリスク者勧奨H28以前 13,600人（20歳、40歳）⇒ H30 85,600人（（子）20～38、（乳）42～58歳）

（前面）

郵便ハガキ

料金後納  
郵便

平成31(2019)年度  
子宮頸がん検診のご案内  
必ず開封してください

お問い合わせ  
熊本市コールセンター ひごまるコール  
TEL (096) 334-1500 (専門的な問い合わせを除く)

熊本市 健康づくり推進課  
TEL (096) 361-2145

万一、このハガキが湿っている場合は、十分に乾かしてから矢印方向にゆっくりはがして中をご覧ください。

### 子宮頸がん検診ってどんな検査？

検査時間は10～20分程度。痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察（問診・視診・内診）



問診後、内診台に座り、医師が子宮頸部の状態を目で確認し、子宮全体と卵巣・卵管などを触ってチェックします。ゆつたりとしたスカートで受診されることをおすすめします。

2. 細胞診



子宮頸部の表面（粘膜）を綿棒などで軽くこすり、とった細胞を顕微鏡で調べます。このときほんの少し出血することはあっても、痛みなどはほとんどありません。

子宮頸がんは性交渉でうつるありふれたウイルス（HPV）が原因です。消滅しなかった場合は子宮頸がんを引き起こす可能性があります。

※HPVは一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があります。性交渉の経験がない方は、検診を受診する前に医師にご相談ください。

・がん検診で100%がんが見つかるわけではありません。がんがないと診断された方も定期的にがん検診を受診しましょう。

・精密検査が必要と言われたら必ず受診しましょう。なお、検診でがんの疑いがあるとされた場合でも、精密検査の結果がんが見つからないこともあります。

### 対象年齢の方は熊本市より約6,400円の助成があります

子宮頸がん検診は助成がない場合、約7,600円程度の検査ですが、市の検診を受けると約6,400円の助成※があり、自己負担金1,200円で検診が受けられます。（医療機関で受診の場合）  
※ 現金が支給されるわけではありません。

### 子宮頸がんは早期のうちにご治療すれば90%以上が治ります

子宮頸がんが進行すると子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期に治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。

検診を受け早期発見・治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。

◎子宮頸がん検診による早期発見の有効性（5年相対生存率）

早期発見した場合  
（I期）

**92.3%**

早期発見できなかった場合  
（IV期）

**26.6%**

出典：がんの統計「17 全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2007～2009年診断例）」

### 受診するのは2年に1回！

熊本市の子宮頸がん検診は、熊本市に住民票があり、年度内に20歳以上の偶数年齢になる女性が対象です。  
※このはがきは平成31(2019)年度に20～38歳の偶数年齢を迎える女性に送付しています。

（裏面）

### 熊本市の子宮頸がん検診 申込方法

【受診期間】  
平成31年4月1日～  
平成32年(2020年)3月31日まで

**Step 1 医療機関を選ぶ**

中面にある医療機関一覧からお選びください。

**Step 2 電話にて申し込む**

医療機関に直接電話して予約してください。

※原則予約不要ですが、診察の状況によっては受診できない場合があります。事前の電話をおすすめします。

●持ち物 保険証などの身分証明書  
検診料 (1,200円)

※生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は下記の証明書の提示で無料になります。  
生活保護受給世帯 保護証明書（平成31(2019)年度発行のもの）  
市民税非課税世帯 市民税（所得・課税）証明書 世帯分（世帯全員の非課税を証明した最新年度分）  
「市民税証明書世帯分」はマイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービスでは取得できません。

### 平成31(2019)年度 熊本市子宮頸がん検診 実施医療機関一覧

※がついている医療機関は要予約です。  
熊本市のがん検診では受診券は発行しておりません。お電話の際に「熊本市の子宮頸がん検診を受診希望」とお伝えください。

管内	校区	医療機関名	電話番号
西 区	黒髪	よしむら産婦人科皮膚科クリニック	345-8300
	磯台	あつじレディースクリニック	356-9325
	城東	ソフィアレディースクリニック水道町	322-2996
		フォーシーズンズレディースクリニック	278-7870
	一新	福田病院	322-2995
	慶徳	博愛会病院 ※	325-2233
	春竹	ゆのはら産婦人科医院	372-1110
	白川	田代産婦人科医院	362-1414
	出水	くまもと森都総合病院 ※	364-6000
	大江	伊井産婦人科医院	364-4003
砂取	八木産婦人科医院	383-2311	
中 央 区	砂取	くわみず病院	381-2630
	森山	森川レディースクリニック	381-4115
	聖アンナレディースクリニック	381-9670	
	福岡レディースクリニック	382-3600	
	西原	清ら内科産婦人科医院	382-3388
	長嶺	ウィメンズクリニック グリーンヒル	360-5511
	日出	日赤熊本健康管理センター ※	387-6710
	健軍	長嶺そよざけクリニック	285-4121
	健軍東	レディースクリニック なかむら	213-1555
	根木	A R T 女性クリニック	360-3670
東 区	健軍東	熊本県総合保健センター ※	365-2323
	根木	桑原産科婦人科医院	365-4103
	秋津	湯江産科婦人科	365-5050
	泉ヶ丘	熊本市心身医療クリニック	285-7721
東	泉ヶ丘	いんでいレディースクリニック	367-2333

管内	校区	医療機関名	電話番号
西 区	城西	慈恵病院	355-6131
	春日	みやはらレディースクリニック	325-1107
	古町	永末産婦人科医院	352-7280
南 区	田邊西	産科・婦人科 うじまクリニック	379-2727
	田邊	前田産婦人科医院	378-8010
北 区	川尻	うちの産婦人科	288-5566
	植木	清田産婦人科医院	273-4111
	北部東	北熊本井上産婦人科医院	345-3911
	清水	朝日野総合病院	341-5075
隣 接 市	植木	片岡産婦人科医院	339-1103
	菊陽町	菊陽レディースクリニック ※	213-5656
	宇土市	山田産科婦人科医院	0964-22-5522
宇城市	まつばレディースクリニック	0964-34-0303	

・子宮頸がん検診について詳しく知りたい方は、熊本市ホームページへ。

熊本市ホームページ（がん検診のご案内）→



一部地域（植木、城南、富合、飽田、天明、北部、河内）では検診車での集団検診を実施します。詳しくは市政だよりでお知らせしていきます。集団検診で受診する場合は、自己負担金1,000円です。

# 子宮頸・乳がんハイリスク対象者受診再勧奨（下は子宮頸がんはがきイメージ）

子宮頸・乳がんハイリスク者勧奨H28以前 13,600人（20歳、40歳）⇒ H30 85,600人（（子）20～38、（乳）42～58歳）

## （前面）

郵便はがき



令和元年度（2019年度）  
がん検診無料クーポン券の対象の方へ

－ 問合せ先 －

熊本市コールセンター ひごまるコール  
(096) 334-1500（専門的な問合せは除く）  
熊本市健康づくり推進課  
(096) 361-2145

## （裏面）

### がん検診無料クーポン券の ご利用はお済みですか？

このはがきは今年度乳がん検診無料クーポン券の対象者（平成31年4月1日時点で40歳の女性）及び、子宮頸がん検診無料クーポン券の対象者（平成31年4月1日時点で20歳の女性）のみなさまにお送りしています。

既に受診された方は行き違いですのでご容赦ください。

※このはがきはクーポン券ではありません。

### まだ受診されていない方へ

クーポン券は令和2年(2020年)2月29日まで利用できますが、有効期限が近づくと予約が集中して受診できなくなることもあります。受診はお早めに!



クーポン券は、6月末に発送しています。

クーポン券を紛失・毀損された方は、区役所保健子ども課または健康づくり推進課でお手続きいただくと再発行できます。

※即日発行はできません。お手続きから1週間～10日程度でご自宅に郵送します。

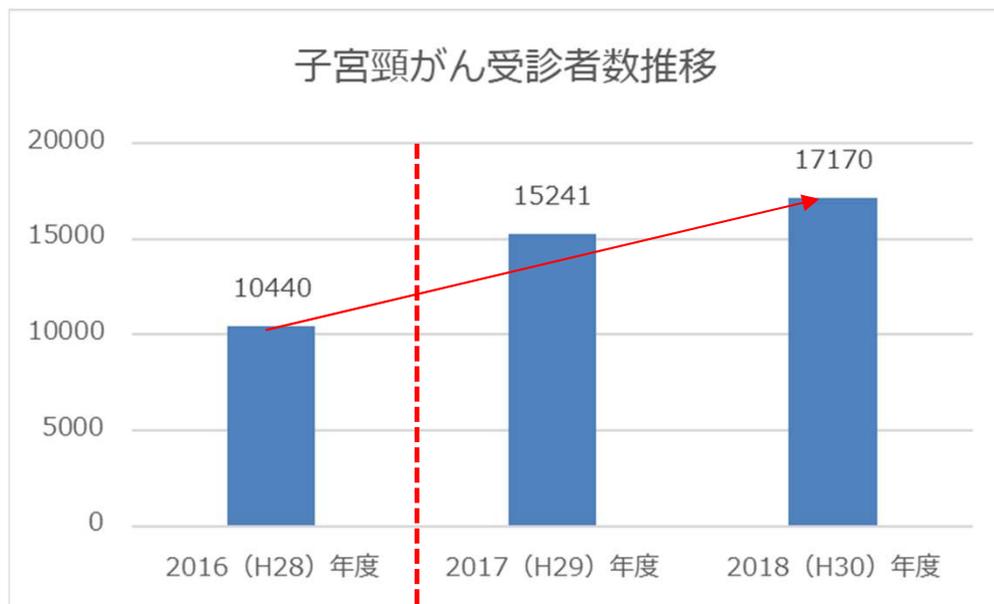
交付・再交付の手續に必要なもの

- ・住所、氏名及び生年月日を確認できる書類（保険証、運転免許証など）
- ・印鑑

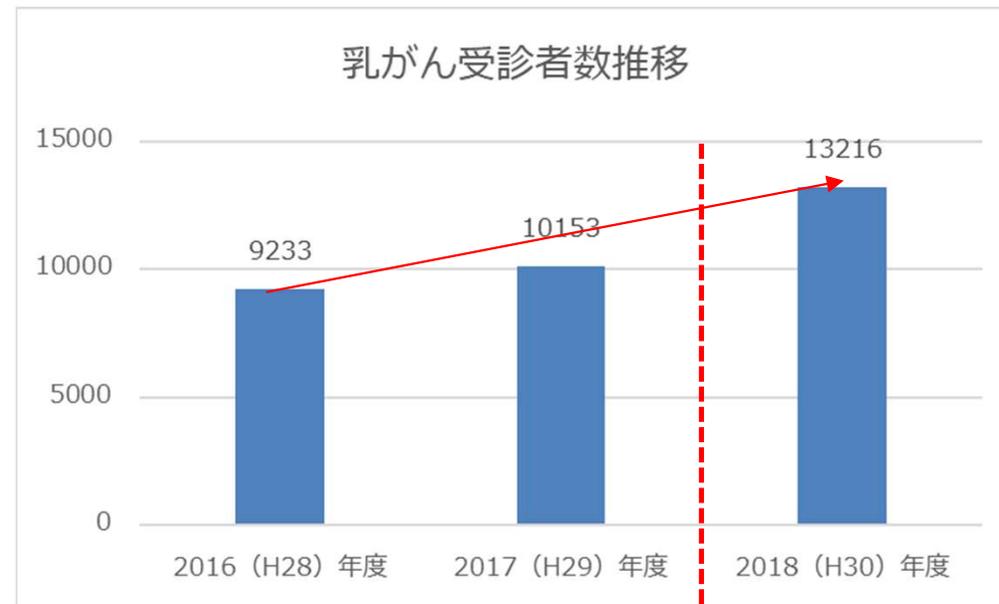
## 【結果】

○子宮頸がん検診受診者数：64.5%増（H28年度比）  
乳がん検診受診者数：45.9%増（H28年度比）

区分	H28	H29	H30	備考
子宮頸がん	10,440人	15,241人	17,170人	※取組開始（赤字部分）
乳がん	9,287人	10,199人	13,282人	※取組開始（赤字部分）



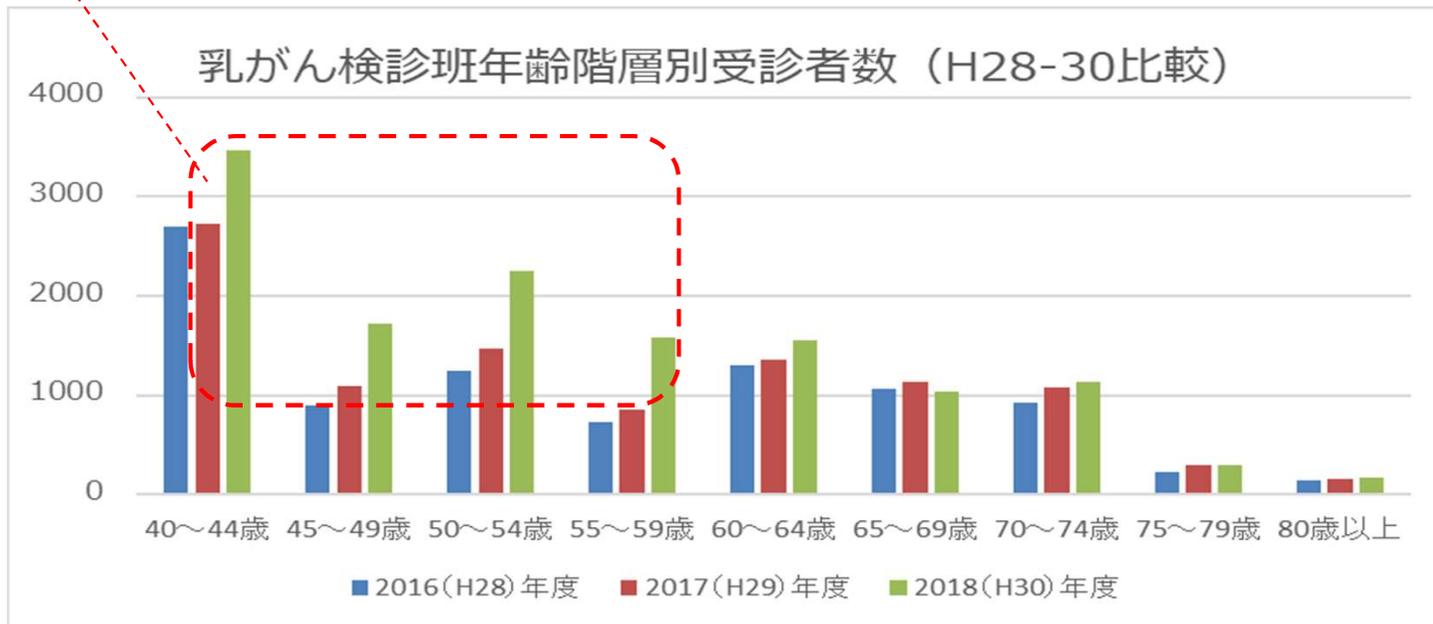
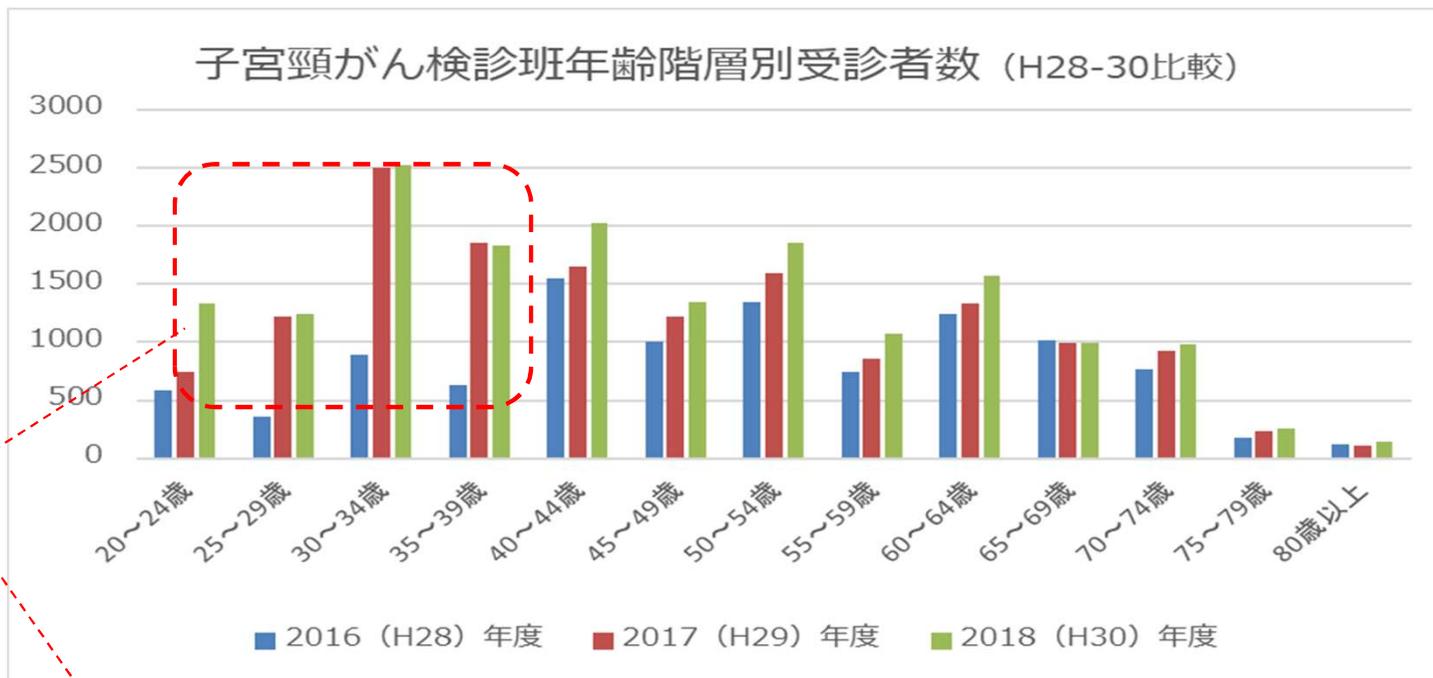
H29年度取組開始



H30年度取組開始

# 子宮頸がん・乳がん検診年齢階層別受診者数年次比較

ハイリスク者への個別  
 勧奨を行った対象年齢  
 階層が突出しており、  
 個別受診勧奨が効果  
 的であったことが判る。



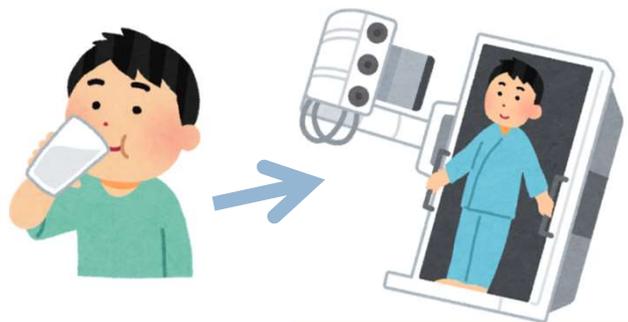
## ④胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）

### 【内視鏡検査導入前】

検診方法：胃部エックス線検査  
※集団検診で実施

対 象：40歳以上の男女

受診間隔：逐年



#### ○胃X線検査

- ・レントゲン検査、造影剤のバリウムと、胃を膨らませる炭酸ガスを発生させる発泡剤を飲んで受診。
- ・発泡剤を飲むとゲップが出やすくなるが、胃の粘膜を見やすくするためにゲップの我慢が必要。
- ・膨らんだ胃の粘膜にバリウムを付着させるために、身体を仰向けやうつ伏せ、左右に回転させる。
- ・バリウムは時間と共に粘膜から剥がれ落ちるため、撮影を行いながら身体を回転を繰り返す。
- ・レントゲンで胃の内部を撮影するため、食事や飲料の摂取制限あり。

### 【内視鏡検査導入後】

胃部エックス線検査  
※対象等は左図参照

or

検診方法：胃内視鏡検査  
※個別検診で実施

対 象：50歳以上の男女

受診間隔：隔年



**のいずれかの方法を選択**

#### ○胃内視鏡検査

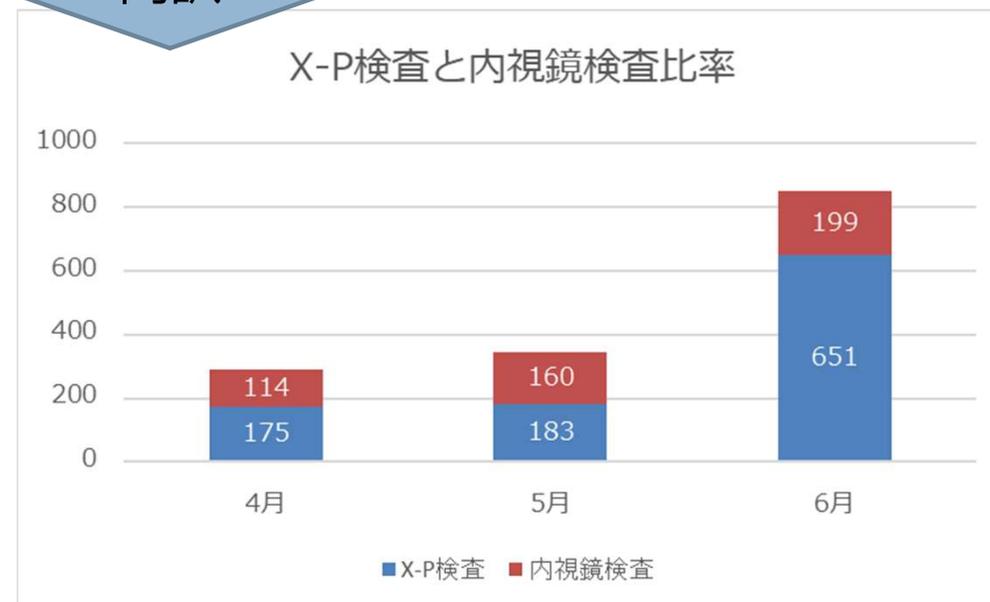
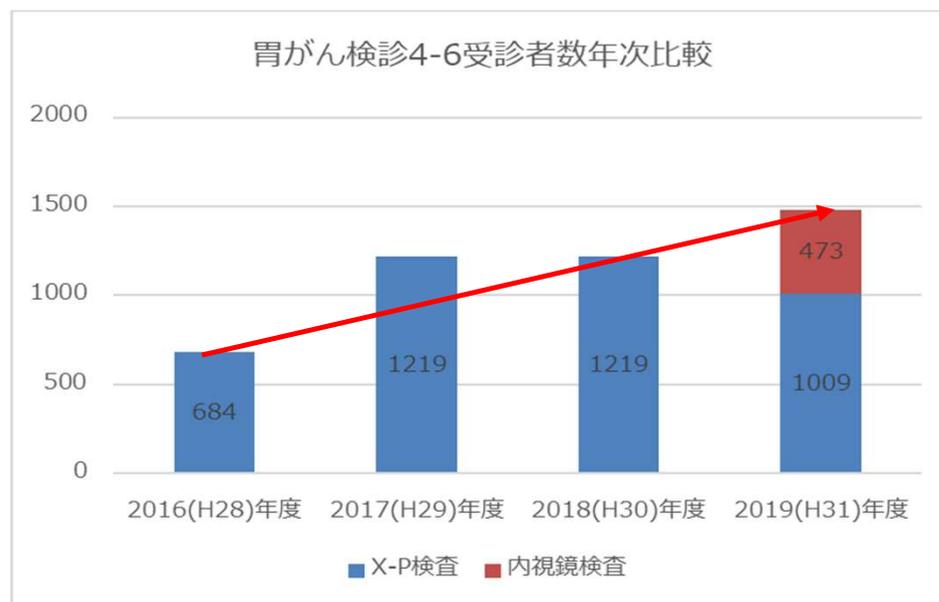
- ・小型のカメラを装着した細い管を口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸を直接観察。
- ・粘膜の微細な変化も鮮明に見えることから、凹凸の少ない病変や出血なども確認が可能。
- ・内視鏡を挿入する痛みを軽減するための麻酔薬や、胃の動きを抑える薬などを利用することから、薬剤アレルギーや持病がある方は注意が必要。
- ・管がのどを通過する際に嘔吐反射が起きることがあり苦痛を感じる場合もあり。苦痛を軽減するために鎮静剤を利用する事もある。
- ・内部を観察するため、食事や飲料の摂取制限あり。

# 胃がん検診における今年度の受診者数推移

受診者数の過去3年間（4月～6月）を比較するとH31年度はH28と年度と比較し2.2倍ほどと増加している。

	4月	5月	6月	合計	
<b>X-P検査</b>	175	183	651	1009	68.1%
<b>内視鏡検査</b>	114	160	199	473	31.9%
	289	343	850	1482	

内訳

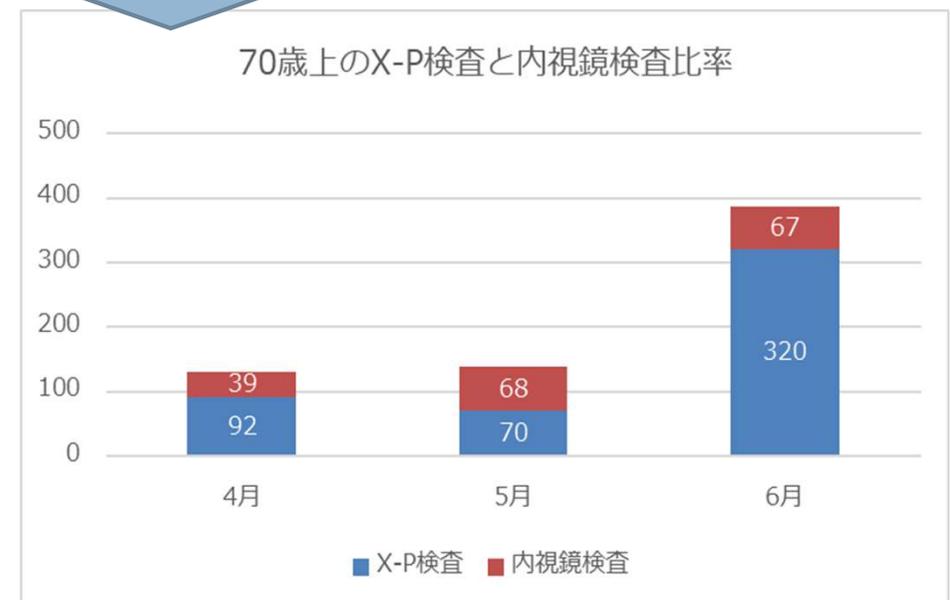
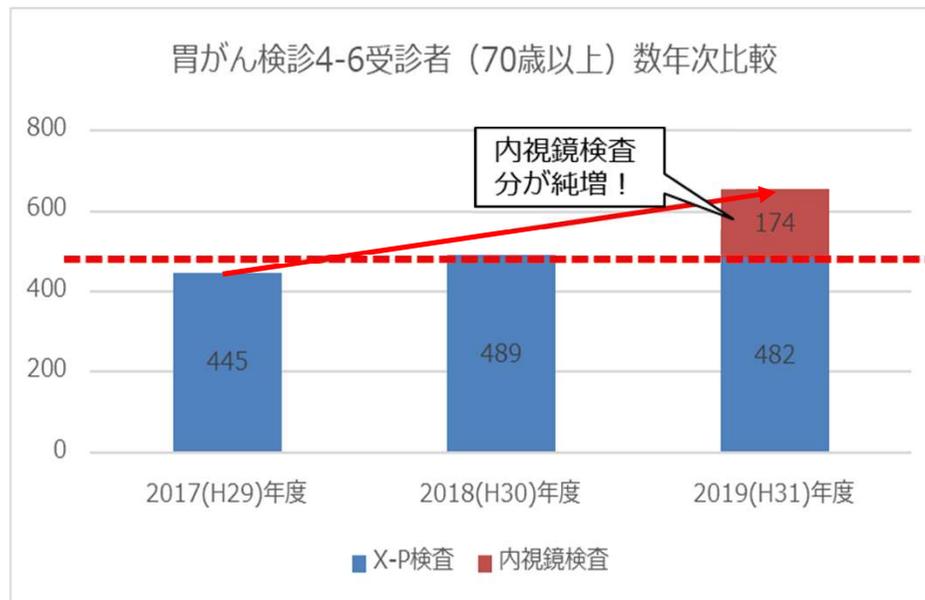


# 胃がん検診における今年度の受診者数推移 (70歳以上再掲)

70歳以上の受診者数の過去3年間（4月～6月）を比較するとH31年度はH28と年度と比較し1.47倍ほどに増加している。内視鏡検査による増加分が純増しているといえる。

	4月	5月	6月	合計	
<b>X-P検査</b>	92	70	320	482	73.5%
<b>内視鏡検査</b>	39	68	67	174	26.5%
	131	138	387	656	

内訳

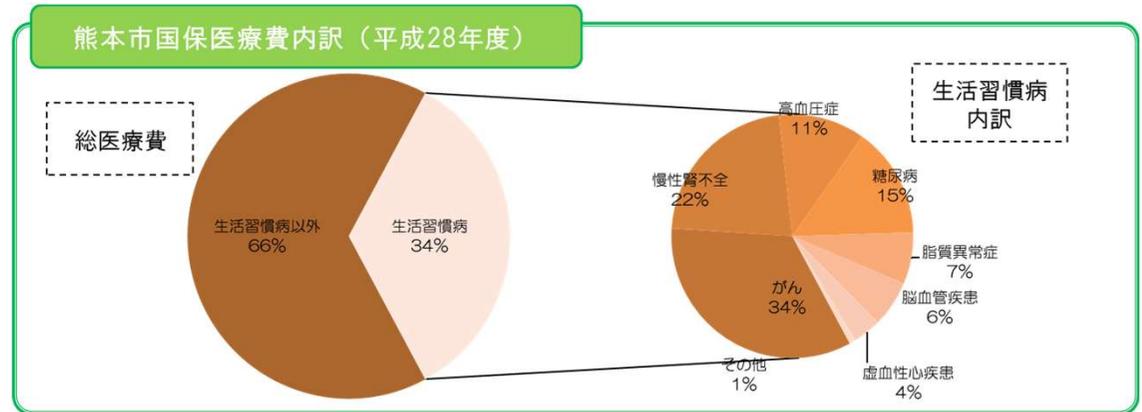


## ⑤ 70歳以上がん検診無料化

### 事業の背景

#### 【医療費の問題】

- ・国保医療費の約12%はがん医療費
- ・H28年度の国保・後期高齢者医療のがん医療費は約140億円。
- ・そのうち70歳以上の医療費は7割に上る。



#### 【罹患率と受診率】

- ・「年齢階層別がん罹患率」のがんの罹患率では、罹患率は40代頃から 緩やかに上昇し、70歳前半でピークを迎えるがその後も高いまま推移する。一方、がん検診受診率は40歳頃から概ね横ばい傾向であるが、70歳以上では受診率が急速に低下する。

### 目的

- ・70歳以上の市民のがん検診自己負担金を無料化し、70歳以上の市民の検診受診率を向上させ、がんの早期発見・早期治療に繋げ、元気で長生きできる高齢者の増加を目指すもの。

## 事業概要

- ・70歳以上の市民のがん検診自己負担金の無料化
- ・がん検診受診の自己負担金は、検診費用の2割程度（次の表を参照のこと。）
- ・これまで、市民税非課税世帯、生活保護世帯については、自己負担金を無料としていた。
- ・平成31年4月より、新たに70歳以上の市民の方にも広げるもの

検診種類	検診方法	対象	受診方法	自己負担額
肺がん	X線検査	40歳以上	集団検診 セット検診	200円
胃がん	X線検査	40歳以上	集団検診 セット検診	1,000円
	内視鏡検査	50歳以上 偶数年齢	個別検診	3,000円
大腸がん	便潜血検査	40歳以上	集団検診	300円
			個別検診	500円
			郵送検診	300円
乳がん	X線検査	40歳以上 偶数年齢	集団検診	1,100円
			個別検診	1,100円
子宮頸がん	細胞診	20歳以上 偶数年齢	集団検診	1,000円
			個別検診	1,200円

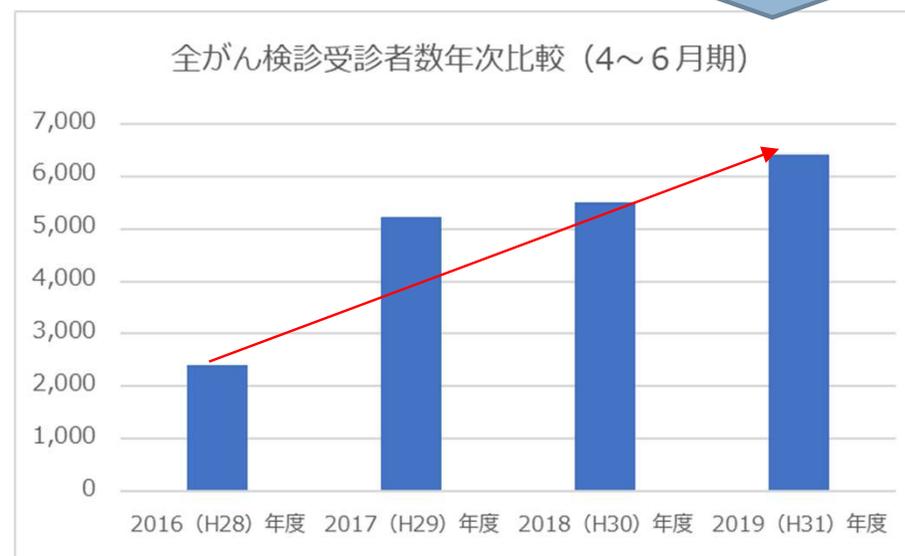
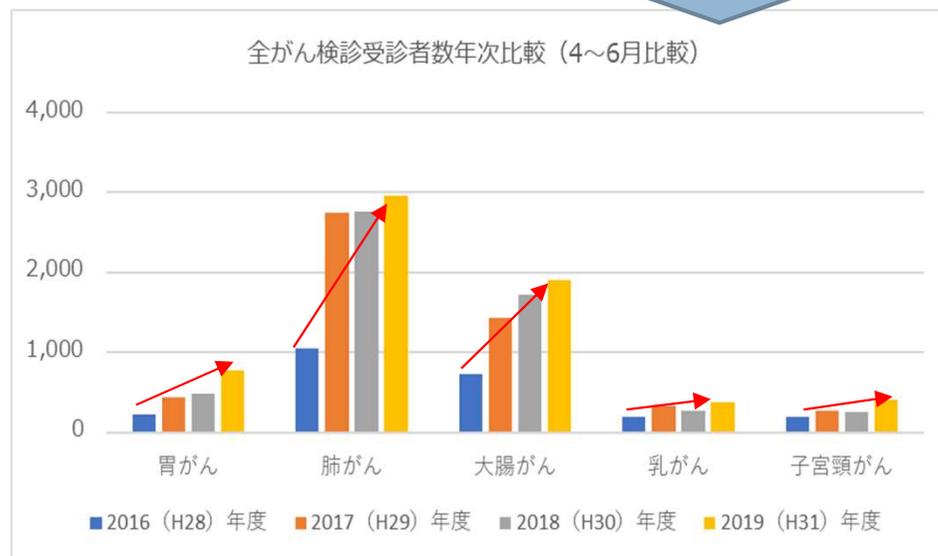
# 70歳以上の受診者数年次比較（4～6月期）

直近の4月から6月までの全がん検診の70歳以上の受診者数を過去3年間で比較すると全がんとも増加傾向にあり、70歳以上無料化の効果も聞いているのではないかと考えられる。

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん	合計
2016（H28）年度	231	1,051	727	201	191	2,401
2017（H29）年度	445	2,743	1,440	328	275	5,231
2018（H30）年度	489	2,767	1,721	267	262	5,506
2019（H31）年度	781	2,960	1,899	371	414	6,425

内訳

内訳



# 平成30年度末までの受診率推移

